

## 6 月 26 日 : VN 指数はどうか続伸 (VN-Index +0.37%)

- VN 指数は昨日の流れを引き継ぎ、前日終値を下回る軟調な展開で開始した。
- 銀行、金融、不動産セクターの下落が市場全体に多大な影響を及ぼした。
- しかし後場では徐々に買いが先行し始めたことで前場の下落を打ち消し、わずかに上昇を記録したところで大引けとなった。
- 化学、情報技術、自動車・部品セクターが指数上昇の主要ドライバーであった。
- 190 銘柄が上昇、216 銘柄が下落、76 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は昨日から引き続き下落。3.42%減の 20.8 兆ドンとなった。

### VN30 指数は反発したが市場全体を下回る (VN-30 +0.19%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、12 銘柄が上昇し、12 銘柄が下落、6 銘柄が変わらずだった。
- GVR (+6.99%)がストップ高を記録し指数をけん引し、BCM (+4.76%)、PLX (+3.41%)がその上昇に続いた。
- VRE (-2.35%)が 1%を超えて下落した唯一の銘柄であった。

### セクター・個別株の動き

- GAS (+0.26%)が 2024 年 5 月の売上が 41.5 兆ドン、税引き前利益が 5.2 兆ドンであったと発表した。同社は 5 月までに 2024 年通期目標売上の 59%、税引き前利益の 71%を達成した。
- MWG (+0.97%)の 2024 年 5 月の業績はブランドごとに明暗が分かれた。家電量販店チェーンのテーゾイジードン、ディエンマイサインの売上は、エアコン販売台数の低下により前年同月比-7%の 7.5 兆ドンに落ち込んだ。一方で生鮮・日用品販売を手掛けるバックホアサインの売上は 3.4 兆ドン (同+6.6%) であり、1 か月の店舗平均売上は 20 億ドンに達した。

- 外国人投資家は 5987 億ドルの売り越し。顕著な買い越し銘柄は TCB (0.00%) のみだった一方、外国人の売りは主に FPT (+1.38%), FUEVFNND (-0.65%), and MWG (+0.97%)に集中した。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。